



地域の資源を活かした 新たな取り組み

昨年4月、県内で4番目に認定を受けた「びわ湖・里山観光振興特区計画」では、市内の自然資源を始め、地域の歴史、生活文化を農林水産業や地場産業と絡ませながら、観光を切り口に、地域経済の振興と活性化につなげるべく取り組んでいます。

昨年度は、計画に参画している特区事業者により、湖岸や水辺を活用した「新旭水鳥観察センター」のリニューアルオープンと今津港周辺の活性化に向けての町屋を活かした飲食店「カフェ・ラック」のオープンがあり、更なる観光誘客

観光振興による地域経済活性化の取り組み

「おもてなし」と「挑戦」

11か所もの全国百選、全長約80kmにおよぶ中央分水嶺など、高島が誕生したことで、これまでそれぞれの地域で大切に守られてきた自然環境や文化的資源が脚光を浴びています。市では、これら貴重な地域資源を観光振興に活かし経済の活性化に繋げていくための新たな取り組みを展開しています。

事業が開始しました。

一方、市では、魅力ある観光地にふさわしい「おもてなしの心」の醸成を目指した「高島観光おもてなし研修会」や「挑戦できる高島市」の創造を目指した「高島ビジネスプランオーディション」の開催など、計画の具現化に向けた土台づくりを行いました。

2年目を迎える今年度は、県の新支援制度による特区事業者の支援や事業者と連携したモデルツアーを実施しています。

6月30日・7月1日には、琵琶湖汽船(株)との共催で琵琶湖から里地にかけての体験モデルツアー「クルーズ船ビアンカ号で訪ねる高島里山の旅」里山のホタルに

逢いに」を行い、県内外からの参加者に、伝統産業の体験や地元食材を使った食事の提供、そしてホタル鑑賞など、地域の特色を生かした「おもてなし」に満足していただくことができました。今後継続的なツアー実施に向け更なる取り組みを始めています。

また、合併により全国に誇れる地域資源となった「中央分水嶺高島トレイル」の事業化を目指し、地元の関係者が組織を立ち上げ、道標設置を始め、全ルート開通を目指した取り組みを進めています。

10月27日・28日には、オープニングイベントとして「全国トレイルサミット」を開催し、高島トレイルの魅力为全国へ発信してい

ます。
また、昨年に引き続き、「高島ビジネスプランオーディション」や「高島観光おもてなし研修会」の開催、市内全体をつなぐ面的観光地を目指し、観光プロモーションやプロデュースの一元化を行う組織づくりを市民の皆さんと一緒に進めて参ります。

駅からはじまる 高島の旅

高島市は、里山に代表される豊かな自然と、湖畔に育まれた多様な歴史と文化によって、数多くの散策ルートを持っています。しかし、具体的な仕組みづくりが整っ



ビアンカ号で訪ねる高島里山の旅 (和ろうそくづくり体験)

「高島トレイル」

『全国トレイルサミットin高島2007』開催

市内に存在する80kmに及び中央分水嶺を活用した「高島トレイル」を全国に発信するオープニングイベントとして、全国のトレイルづくりに取り組まれている方々や登山家を始めトレッキング愛好家などを集め、「全国トレイルサミットin高島2007」を開催します。

2日間の日程で、地域資源を活かしたトレイルづくりの実情や持続的なトレイルの利用に向けた情報の共有と意識の向上を図ります。高島トレイルを全国に誇り、後世に引き継ぐため、市民の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

10月27日(土)

エクスカッション

紅葉に染まる中央分水嶺高島トレイルを満喫。アパラチアトレイルアメリカ3,500kmを踏破されたネイチャーライター加藤則芳さんも参加

- ▼時 間 9時～16時
- ▼会 場 マキノ・今津・朽木 各地トレイルコース
- ▼コース Aコース 加藤則芳さんと歩く中央分水嶺高島トレイルinマキノ
- Bコース 中央分水嶺高島トレイルin今津
- Cコース 中央分水嶺高島トレイルin朽木
- Dコース びわ湖&里地ハイク(渚百選ウオークと近江聖人中江藤樹先生ゆかりの史跡めぐり)

参加費

各コース3,000円(弁当付)

10月28日(日)

ショートハイク

参加費 2,000円(弁当付)

- ▼時 間 9時～正午
- ▼参加費 2,000円(弁当付)
- ▼トレイル関連イベント
- ▼時 間 9時～正午
- ▼シンポジウム
- ▼時 間 13時～17時
- ▼会 場 マキノ高原ハイランドアリーナ
- ▼内 容
- 基調講演 「トレイルづくりと地域活性化」 川嶋 辰彦 氏 (日本トレッキング協会会長)
- 「自然を尊ぶ心、人を敬ぶ心」 アパラチアトレイルが 教えてくれたもの」 加藤 則芳 氏 (日本トレッキング協会常任理事)

高島トレイルおよび各地のトレイルの活動紹介

高島トレイルおよび各地のトレイルの活動紹介

高島トレイルおよび各地のトレイルの活動紹介

高島トレイルおよび各地のトレイルの活動紹介

高島トレイルおよび各地のトレイルの活動紹介

高島トレイルおよび各地のトレイルの活動紹介

高島トレイルおよび各地のトレイルの活動紹介

高島トレイルおよび各地のトレイルの活動紹介

高島トレイルおよび各地のトレイルの活動紹介

高島トレイルおよび各地のトレイルの活動紹介

高島トレイルおよび各地のトレイルの活動紹介

高島トレイルおよび各地のトレイルの活動紹介

高島トレイルおよび各地のトレイルの活動紹介



パネルディスカッション

「自然と人が共生するトレイルづくりと地域の活性化」

コーディネーター 中村 達 氏 (アウトドアジャーナリスト) パネラー

加藤 則芳 氏 神長 幹雄 氏(山と溪谷社出版部長)

伊藤 泰通 氏(ABMOBIET代表)

海東 英和 市長

参加費 (資料代) 1,000円(市内在住者は無料)

秋の夜長を楽しむ交流会

18時～20時

参加費 3,000円

2007実行委員会事務局

(商工観光課内)

(25)8514

滋賀支店

(3)88055

高島市は、里山に代表される豊かな自然と、湖畔に育まれた多様な歴史と文化によって、数多くの散策ルートを持っています。しかし、具体的な仕組みづくりが整っ

高島市は、里山に代表される豊かな自然と、湖畔に育まれた多様な歴史と文化によって、数多くの散策ルートを持っています。しかし、具体的な仕組みづくりが整っ

高島市は、里山に代表される豊かな自然と、湖畔に育まれた多様な歴史と文化によって、数多くの散策ルートを持っています。しかし、具体的な仕組みづくりが整っ

高島市は、里山に代表される豊かな自然と、湖畔に育まれた多様な歴史と文化によって、数多くの散策ルートを持っています。しかし、具体的な仕組みづくりが整っ